

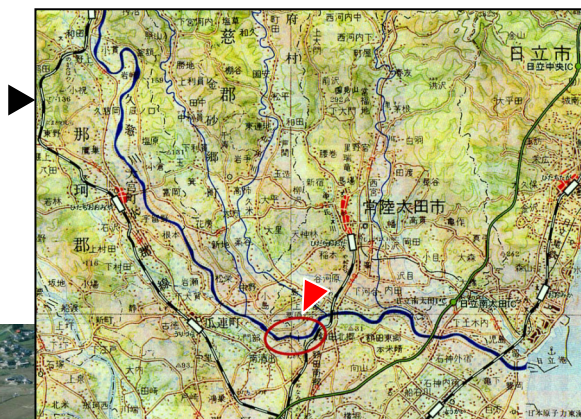
2) 粟原^{あわばら}周辺地区（常陸太田市，那珂市）

河床勾配は約 1/1,200 程度と上流区間に比較してやや緩やかとなり、河床材料も粒径 10mm 程度と上流に比較して小さな砂礫となる。砂州は湾曲部内側に発達している。

当該地は、河川勾配も緩くなり、側方侵食による河川蛇行が起り、かつては久慈川が大きく逆 S 字型に湾曲していたところである。旧河道は^{かせきこ}河跡湖として残り、流水環境の河川と止水環境の池沼が近接する特異な環境となっている。常陸太田市粟原の河跡湖は、茨城県内でも珍しい三日月湖のひとつであり、広域的に見ても重要な地形である。また、抽水植物のガマが繁茂する池や、浮葉植物のヒシが水面に広がる池などがあり、水鳥の隠れ場所や、止水性の水生生物の生息場所となっている。

粟原地区一帯は、池沼、ヨシ原、樹林、スギの植林地、斜面林、崖地など、多様な環境から構成されているため、鳥類については猛禽類から、猛禽類の餌となる小動物や昆虫類、魚類等のバランスよい生息環境が形成されている。^{とこがため}床固の上流域には入り江、細流などもあり、生物多様性の高い久慈川最大の自然拠点地となっている。冬季にはコミミズクやチュウヒなどが飛来し、豊かな自然環境が残されている地域である。しかしながら、当該地も湿地環境が減少する傾向にあり、将来にむけて自然環境の回復など課題も残されている。

粟原周辺地区
（常陸太田市，那珂市）の位置



粟原周辺地区（常陸太田市，那珂市）の状況 (平成 15 年 11 月撮影)